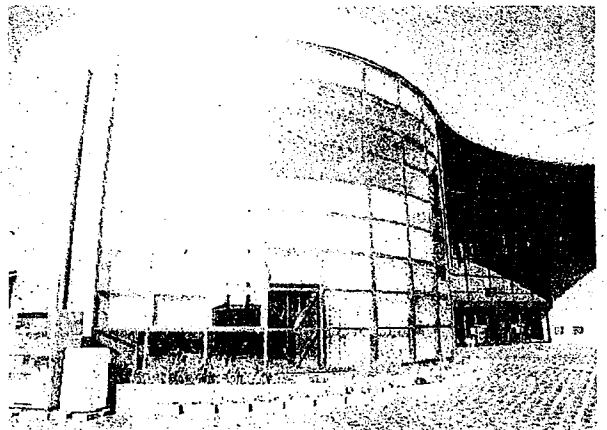


東郷町には、町が100%出資する東郷町施設サービス㈱という会社があります。いこまい館でジムを運営したり、子ども達や高齢者に向けた体操教室を実施したりと、東郷町の健康分野で大きな役割を担ってくれています。しかしながら、この会社は、東郷町が発注する草刈りや公園の植栽管理事業の入札に参加し、落札している現状もあるのです。

施設サービス㈱自体には、草刈植栽の専門部門はなく、落札した案件は、シルバー人材センターに仕事を発注し、いわば“ピンハネ”しているのです。これでは、税金で作った会社が、税金を納めた地元企業の仕事を取り上げている、と見られても仕方ありません。施設サービス㈱は、町長が唯一の株主で、副町長が取締役の会社です。

町が発注する仕事の決裁権者であり、入札の予定価格を知っている町長・副町長が、この会社に大きく関与している点を見ると、入札が公平に行われているか、疑念を持たれてもやむを得ないと考えます。



施設サービス㈱の本社が入る町体育館

町民会館を清掃する シルバーさん



入札に参加し、落札したらシルバー人材センターに仕事を依頼する、シルバー人材センターの仕事にはまったく問題はありません。しかしながら、県が示している草刈植栽の職人さんの人件費と、シルバーさんへ支払う人件費には大きな差があり、当然、人件費は安く抑えることが出来るわけです。これでは、地元企業は職人さんを新たに雇用することは出来ない上、今、雇っている職人さんを安定的に雇用できなくなります。雇用の拡大を目指し、大金を使い「道の駅」を造ろうとしている東郷町、言っている事とやっている事に矛盾を感じるのは私だけでしょうか。

現在、町民会館やいこまい館等の指定管理者として、施設サービス㈱には年間約2億円が支払われています。しかし、清掃管理についてはシルバー人材センターさんがそのほとんどを担っています。

12月議会一般質問において

【いまた】シルバー人材センターさんは、東郷町施設サービス㈱が発注した東郷町の公共施設の指定管理事業においても人材の派遣を受け丁寧な仕事をして頂いています。施設サービス㈱を経由することなく、直接、シルバー人材センターが指定管理者となればよいのではないですか。

【副町長】シルバー人材センターは公益法人であり、厚生労働省からもシルバー人材センター適正就業ガイドラインにおいて「民業圧迫は慎むべし」との通知が何度も来ており、指定管理の入札には参加されていない、と聞いています。

とのやり取りがありました。

シルバー人材センターさんのように、地元企業を圧迫しないで行く仕組みが、東郷町に、そして東郷町施設サービス㈱にも必要なのではないのでしょうか。企画部長も答弁の中で

【企画部長】一定の配慮は必要かと考えます。

と答弁されています。地元企業の自助努力、企業努力が基本であることは言うまでもありませんが、行政のパートナーとして地元企業の育成も行政として推進すべきと私は考えます。いかがでしょうか？



東郷町シルバー人材センター